

## 千葉県の「教育文化財」を訪ねて

県教育庁教育振興部文化財課指定文化財班班長 **吉野 健一** よしの けんいち

千葉県には、私が勝手に「教育文化財」と呼んでいるものがある。江戸時代の後期から幕末にかけて全国各地で学問熱や教育熱が高まり、そのことが、明治以降の近代化に寄与したと考えられ、千葉県においても武士階級から庶民に至るまで教育・勉学に励んでいた。千葉県では江戸時代に教育に尽力した人々の足跡を顕彰し、様々な形で文化財指定している。今回はこのような「教育文化財」を紹介したい。

皆さんは、**稲葉黙齋**という人物をご存じだろうか（私は知らなかった）。黙齋は、江戸時代中期に活躍した**朱子学者**で、江戸で生まれ育っている。新発田藩（新潟県）に仕えたのち、晩年に大網白里市に隠居し、山武地域の農民の教育に尽力したと伝わっている。山武市成東に「**稲葉黙齋墓**」という県史跡があり、居宅跡は大網白里市史跡「**稲葉黙齋の孤松庵跡**」である。

次に紹介するのは**久保木竹窓**である。竹窓は、江戸時代中期から後期に活躍した**儒学者**で、伊能忠敬とも親交があり、「**大日本沿海輿地全図**」の完成にも協力した。私塾「**息耕堂**」を開き、子弟は数百人に達したと伝わる。香取市には県史跡「**久保木竹窓遺跡**」があり、関連資料は県有形文化財「**久保木竹窓遺品**」である。香取市にはそのほかにも「**佐藤尚中誕生地**」という県史跡がある。尚中は幕末から明治にかけて活躍した**蘭方医**で、「**佐倉順天堂**」の2代目堂主である。明治8年に「順

天堂医院」を東京に開設し、順天堂大学に発展する。佐倉順天堂では西洋医学による治療を行うとともに医学教育が行われた。佐倉市の県史跡「**旧佐倉順天堂**」では、当時の建物の一部が公開されている。また、同市の県立**佐倉高等学校**には、県有形文化財「**鹿山文庫関係資料**」が保管展示されている。佐倉藩の藩校が収集した「**ハルマ和解**」をはじめとした洋学関係の文献に明治期の教育関係資料を加えたもので、江戸時代から約200年続く佐倉高等学校の教育の歴史を今に伝える。

順天堂大学の前身について触れたが、**匝瑳市**には、立正大学の前身として知られる県史跡「**飯高檀林跡**」がある。檀林とは**仏教**の学問所のこと、飯高檀林は日蓮宗における**関東三大檀林**として知られており、江戸時代を通して学問の場であった。国重文「**飯高寺講堂**」等の現存する江戸時代の建物からも、教育機関としての姿を見ることができる。

県立中央博物館が所蔵する県有形文化財「**房総数学文庫**」は、江戸時代末期から明治期に発展した「**和算**」に関連する資料で、現在の旭市干潟の**数学者花香安精**らが残した書籍である。旭市の**大原幽学記念館**には巨大な「**算額**」（額や絵馬に数学の問題や解法を記したもの）が展示されており、和算の隆盛を感じることができる。そして最後に、大原幽学も農政学を通して地域教育に貢献した一人である。同記念館では、国史跡「**大原幽学遺跡**」、国重文「**大原幽学関係資料**」を展示している。

千葉教育 蓮 (No. 680) 令和5年6月22日発行

編集・発行 千葉県総合教育センター（代表）鉄井 修一  
〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-13 TEL 043-276-1204  
URL <https://www.ice.or.jp/nc/>  
印刷所 千葉市療育センター いずみの家  
〒261-0003 千葉市美浜区高浜4-8-3 TEL 043-216-2465